

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 9 月 7 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05787

研究課題名(和文) 免疫系の制御による生体恒常性維持システムの解明と疾患の予防・治療基盤の確立

研究課題名(英文) Elucidation of the host's homeostatic responses by the regulation of immune system and its application to the prevention and treatment of immunological disorders

研究代表者

谷口 維紹 (Taniguchi, Tadatsugu)

東京大学・先端科学技術研究センター・名誉教授

研究者番号：50133616

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 132,300,000円

研究成果の概要(和文)：生体の恒常性維持における免疫応答の役割の解明と、免疫応答制御による疾患予防・治療基盤の確立を目指し、自己由来免疫制御分子および独自に取得した免疫干渉低分子化合物の二つのアプローチにより研究を推進した。本研究において、炎症性疾患やがんの病態制御に関与する複数の自己由来分子を新規に同定し、さらに、それらを標的とする低分子化合物が疾患病態を抑制することを明らかとした。本成果から、疾患の予防・治療において、自己由来分子群を標的とした制御という新機軸の導入が期待される。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究により、自己由来分子に対して免疫系が如何なる仕組みで応答するのか、それが生体の恒常性維持機構及びその変容や破綻においてどのような意義があるのか、といった基本的命題に新たな知見をもたらした。HMGB1やU11snRNA、SP-Dなど、免疫、がんの病態制御に関与する自己分子を複数同定し、その機能を解明した。また、それらの自己分子のいくつかに対して、低分子化合物やデコイオリゴ等を独自に取得し、それらが疾患病態を抑制することも見出した。従って本研究の成果は、恒常性維持機構または破綻の分子レベルでの理解、及び、新規治療標的分子の提示に貢献するものである。

研究成果の概要(英文)：In this research project, we aimed at elucidating the role of the immune system in maintaining the body's homeostasis to establish a basis for disease prevention and treatment by regulating harmful immune responses. We performed the research project by two approaches: One is to study the role of self-derived immune regulatory molecules in inflammation and cancer and, the other, search for the target(s) of a chemical compound K69, which we originally discovered as a suppressor of autoimmunity. From these approaches, we identified HMGB1 as the critical regulator of inflammatory diseases and cancer. We also identified U11 snRNA as the target of the K69 and a potent activator of the Toll-like receptor-7 (TLR7) pathway. On the basis of these findings, we developed small RNAs that potentially activate or inhibit TLR7. These results might introduce a new approach to the regulation of immune responses mediated by self-derived molecules in the prevention and treatment of diseases.

研究分野：炎症・免疫制御学

キーワード：免疫シグナル伝達 恒常性維持 自然免疫 炎症

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

免疫学は病原体に対する生体防御機構を基本テーマとして発展してきた。非自己に対する自然免疫系が適応免疫系と密接に連携することが判明する一方、近年では自己由来の分子群によっても自然免疫系が活性化されることが明らかになりつつあり、その調節機構が注目を集めている。そして、免疫系の恒常性維持においては、末梢における免疫寛容の仕組みが獲得・維持されなければならないことも広く知られている(Sakaguchi S et al, *Cell*, 133: 775-787, 2008)。従って、自然、適応両免疫系においては、「内なる分子」つまり自己分子に向けられた反応が基本である、とも捉えることができよう。さすれば、このような自己分子への過応答や調節の異常が免疫系の変容・破綻をもたらし、疾患発症へと繋がることが予測され、この研究分野は国際的にも新しい潮流を生みつつある(Rubartelli A, Lotze MT, *Trends Immunol.* 2007, 28: 429-436)。ストレスを受けた細胞等が放出される自己分子は一般的にはDamage-associated molecular pattern molecules (DAMPs) と総称され注目されつつあるものの、その実体や機能についてはほとんどが不明の状態である。

2. 研究の目的

上述のような状況のもと、申請者らは自己由来分子が深く関与する自然免疫応答システムの存在を示すいくつかの予備的知見を得るとともに、そのような機構を標的とすると考えられる低分子化合物を独自に取得した。これらの予備知見やマテリアルを活用・発展させることによって、自己由来分子に対する免疫制御機構をより体系的に理解し、それが関与する生体恒常性の維持と破綻のメカニズムの解明を目指すことは、新規性・実現性の高いアプローチと考えられる。そこで本研究において、自己由来分子に対する免疫制御機構をより詳細かつ体系的に理解し、それが関与する生体恒常性の維持と破綻のメカニズムの解明を目指した(図1)。

本研究では便宜的に次の4項目を設定して研究プロジェクトを統合的に推進し、自己由来分子による新たな免疫系の制御機構の解明を進めた。また、一連の研究成果を基盤として、関連疾患に対する新たな予防・治療原理の確立を目指した。

- (1) 死細胞放出分子による炎症・免疫系の制御機構の解明
- (2) 自然免疫受容体による自己の生細胞認識とその生体恒常性維持及び破綻機構の解明
- (3) 腸管における外来性分子と内在性分子の相互作用による恒常性維持及び破綻機構の解明
- (4) 免疫系を調節する新規自己由来分子の同定とそのシグナル伝達経路と病態発症機構の解明

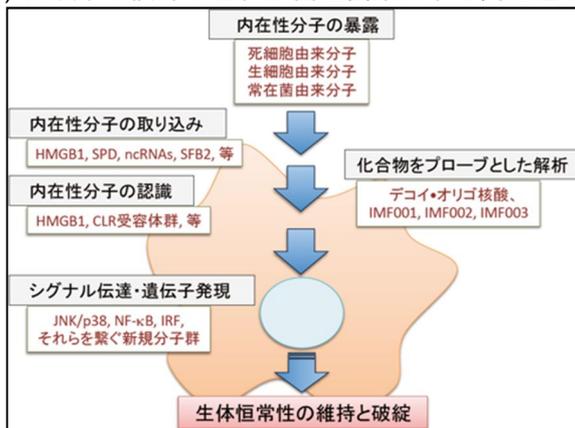


図1 研究構想の概略 本研究課題は免疫応答を惹起する自己由来分子群を基軸とし、それに対する免疫応答と生体恒常性維持及び変容・破綻による病態発症について解析することを主目的とした。既に応答のそれぞれの段階に関わる分子に関する予備的知見を得ているだけでなく、このような応答を制御し、薬効を示す新規化合物を利用して新たな免疫調節因子を同定・解析した。本研究は主に4つの項目に分類し、相互に密接させ、研究を推進した。横断的な解析の中から、新しい研究領域の開拓と医学への応用基盤の確立を目指した。

3. 研究の方法

自己由来免疫制御因子による自然免疫系の制御機構の解明を主軸とし、生体恒常性維持及びその変容・破綻による疾患発症機構について解析を進め、予防・治療法に向けた基盤の提供を目指した。そのため、新たに同定した自己由来分子の解析とともに、独自に取得した低分子化合物をプローブとして新たな制御分子の同定と機能解析をも推進した。研究は便宜的に4つの項目に分類するが、相互に密接に関連していることから、個々の解析に加えて、横断的な視点から研究を俯瞰することにより、包括的・統合的な研究を推進した。平成30年度の研究進捗評価において、評価Aを頂いたが、“今後、各項目の研究をさらに発展させるとともに、当初研究計画にあるように、各項目の相互の密接な連携による新たな研究展開を期待する。”との指摘を頂き、相互連携を密にし、さらなる研究の発展を目指した。

4. 研究成果

(1) 死細胞放出分子による炎症・免疫系の制御機構の解明

まず、DAMPsの代表例の一つとして知られているHigh-mobility group box 1 (HMGB1) 分子について、HMGB1コンディショナルノックアウトマウスを独自に作成し、HMGB1の炎症、免疫病態における役割について解析した。Cre-ERT2マウスとの交配によりタモキシフェン投与依存的に一過的に全身性HMGB1を欠失させたマウスに対し、エンドトキシン(LPS)誘導性ショックを行うと、意外にも生存率に変化は見られなかった。しかし、肺などへの臓器に対する好中球の浸潤が減弱しているという知見を得た。すなわち、HMGB1が好中球の遊走を促す、という新たな可能性が示された。近年、がん内部の微小環境(Tumor microenvironment; TME)において、骨髄球系

細胞が集積して免疫を抑制することによってがんの進展を促進するとの報告があり、そのメカニズムが注目されている。上記の知見に基づいて、我々はがん細胞が放出する HMGB1 が、TME において好中球のがんへの集積を促進し、がんを増悪させるのではないかと考えた。これを検証するため、マウスメラノーマ細胞株に対し、CRISPR/Cas9 系を利用して HMGB1 を欠損した細胞 (HMGB1 KO 細胞) を作成した。マウス皮下増殖モデルにおいて、HMGB1 KO 細胞はコントロール細胞と比較し顕著な増殖遅延を示し、かつ TME では CD11b⁺Ly6G⁺の好中球の集積の顕著な減弱が見られた (図 2)。すなわち、がん細胞より放出された HMGB1 が好中球の遊走を促し、がん内部への集積を促進することで、がんの増殖を促進することが示唆された。実際、HMGB1 の機能を抑制するデコイ核酸である ISM ODN (Yanai H et al, PNAS. 108:1542-1547, 2011) が、がんの進行および好中球のがんへの集積を抑制することも明らかとなった。(未発表)。

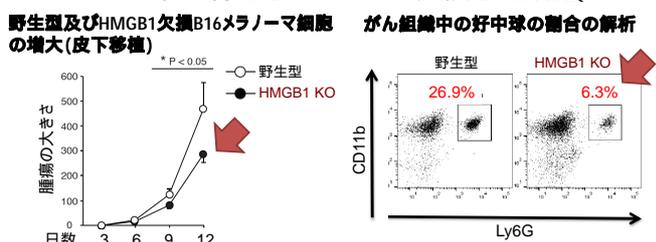


図 2 HMGB1 遺伝子欠損 B16F10 細胞の皮下増殖と腫瘍中の免疫担当細胞の解析 HMGB1 遺伝子を持つ B16F10 細胞および HMGB1 遺伝子欠損 (HMGB1 KO) B16F10 細胞をそれぞれマウスの皮下に接種し、増殖を検討した (左図)。接種後 15 日目のがん組織中の免疫担当細胞群についてフローサイトメーターによる解析を行なった。(右図)。

死細胞から放出される HMGB1 の機能解明を行う過程で、我々はさらに、死細胞から放出される免疫抑制性の新規 DAMPs を同定した。我々はネクロシス細胞上清が、マクロファージからの炎症性サイトカイン放出を強力に抑制することを見出した。この活性は脂質分画中に認められたため、これに対し質量分析を行い、新規 DAMPs がプロスタグランジン E2 (PGE2) であることを同定した。さらにこの PGE2 は臓器障害の際に壊死した細胞から放出され、過剰な炎症を抑制して臓器障害を減弱させることを見出した。またがん内部では定常的に細胞死が起こっているが、このがん細胞より放出される PGE2 が抗腫瘍免疫応答を抑制し、がんの増殖を促進していることを明らかにした (Hangai S et al, PNAS. 113:3844-3849, 2016)。興味深いことに、ネクロシス細胞上清から PGE2 を除去すると、この上清による炎症性サイトカイン誘導が顕著に高まることが分かった。これは、PGE2 によって抑制される炎症性 DAMPs の存在を反映していると考えられる。この炎症性サイトカイン誘導の上昇を担う分子について候補分子の同定を進め、新規 DAMP を同定した (未発表)。

(2) 自然免疫受容体による自己の生細胞認識とその生体恒常性維持及び破綻機構の解明

我々のこれまでの解析から、がん細胞の認識と排除において、自然免疫受容体である C 型レクチン受容体 (C-type lectin receptor; CLR) ファミリーが重要な役割を担っている可能性が示されていた (Chiba S. et al., eLife 3: e04177, 2014)。CLR によるがん細胞の認識と排除機構をさらに解析するため、Dectin-1、Dectin-2、Mincle、Mcl といった代表的な CLR 遺伝子の欠損マウスに対し、がん細胞株を皮下増殖、肺転移、肝転移など複数のモデルにて解析した。興味深いことに Dectin-2 欠損マウスにおいては、肝臓特異的にがん細胞の転移が亢進することが明らかとなった。肝臓において Dectin-2 の発現はほぼ Kupffer 細胞においてのみ見られたことから、Kupffer 細胞が Dectin-2 による抗腫瘍応答を担っているものと考えられた。実際に、クロドロン酸により Kupffer 細胞を除去すると Dectin-2 欠損による肝転移の増加は見られなくなった。更に、解析したところ、Dectin-2 はがん細胞の貪食に関与していることが明らかとなった (図 3)。興味深いことに Dectin-2 とヘテロ複合体を形成すると言われている Mcl 欠損マウスにおいても肝転移の亢進が見られ、Dectin-2-Mcl 複合体によるがん細胞の認識、排除機構が示唆された (Kimura Y et al, PNAS. 113:14097-14102, 2016)。本研究から、CLR はがん生細胞を認識し、排除する、がんに対する免疫監視と恒常性維持に重要な役割を担っていることが示された。

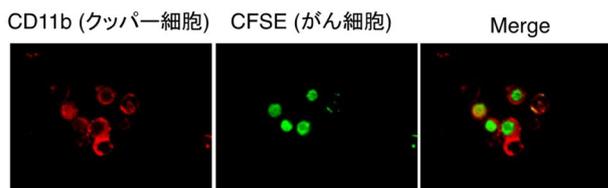


図 3 C 型レクチン受容体による臓器特異的ながんの認識・排除機構の解析 肝臓のクッパー細胞における Dectin-2 は MCL と協調し、がん細胞を貪食することで排除を行う。クッパー細胞 (左図; 赤) が、がん細胞 (中央; 緑) を貪食している (右図; 重ね合わせ)。

(3) 腸管における外来性分子と内在性分子の相互作用による恒常性維持及び破綻機構の解明

本研究において、腸管の恒常性維持に関与する分子としてサーファクタントプロテイン (以下 SP-D) を同定し、SP-D 遺伝子欠損マウスで DSS 誘導性腸炎に対して脆弱性を示す知見が得られた。SP-D は腸管内で検出されるが、小腸・大腸を含む腸管組織での発現は見られず、消化器系臓器では胆嚢のみに特異的に発現していた。実際、総胆管結紮を行うと腸管内の SP-D は検出できなくなり、腸管内に存在する SP-D は胆嚢から分泌されることが明らかになった。SP-D が抗菌ペプチドであることから、腸内細菌叢への影響を検討するため 16SrRNA 解析を行ったところ、SP-D 欠損マウスでは野生型マウスと比較し、細菌叢の多様性が低下し、*Lactobacillus murinus*

(以下、*L. murinus*) など数種類の細菌種の増加とクロストリジウム 4 群, 14a 群に属する複数の細菌種の減少を認めた。実際、SP-D 欠損マウスの腸内細菌を無菌マウスに定着させたところ、野生型ウス腸内細菌を定着させたマウスと比較し DSS 誘導性腸炎の感受性が高くなることから、SP-D 欠損により dysbiosis が起きることが示された。野生型マウスの腸内細菌には、SP-D に結合する細菌が数%の割合で存在することがフローサイトメトリー解析で確認され、この SP-D 結合細菌を採取し 16SrRNA 解析を行ったところ、10 種類の腸内細菌種が判明した。SP-D 欠損マウスで有意に増加していた *L. murinus* もそこに含まれていた。In vitro でリコンビナント SP-D により *L. murinus* の増殖が抑制されることから、少なくとも胆嚢から分泌される SP-D による *L. murinus* の増殖抑制が、腸内細菌叢の制御機構の一つであることを突き止めた。一方、胆嚢上皮細胞における SP-D の発現メカニズムに関して検討したところ、グルココルチコイド(GC)の添加により SP-D 遺伝子発現が誘導されることがわかった。大腸炎に罹患しているマウスでは、肝での GC 合成亢進により胆汁中への GC 分泌が高まり、胆嚢上皮の SP-D 産生が亢進することを突き止め、生体で肝-胆-腸内細菌を基軸とした SP-D を介する調節機構が存在することを明らかにした。一連の結果は、胆嚢と腸管との「免疫クロストーク」ともいえる今迄にない臓器間の連携を見いだしたものであり、胆嚢除去手術等を含め臨床的にも示唆に富む結果と考えられる (Sarashina H, et al, *PNAS*. 114:10178-10183, 2017)。

(4) 免疫系を調節する新規自己由来分子の同定とそのシグナル伝達経路、病態発症機構の解明
我々が独自に取得した低分子化合物 IMF001 の作用機序について、結合タンパク情報を主軸とし、IMF001 誘導遺伝子などの情報を元に標的分子の絞り込みを行った。siRNA によって TLR シグナルへの関与を検証した結果、TLR シグナルに関わる新規分子を複数見出した。TLR シグナルの制御機構に新たな知見を提供できると考えている。もう一つの低分子化合物である IMF002(KN69) について、この化合物がマウスモデルで自己免疫疾患の病態を抑制できることを見出したため、さらに化合物に結合する内在性の RNA を網羅的に同定したところ、それらの中から自己免疫疾患患者の血清中で、病気の程度と相関して増加する RNA として、U11snRNA という低分子 RNA を同定した (Negishi H, et al, *PNAS*. 116: 23653-23661, 2019)。興味深いことに、この U11snRNA はこれまで知られていた自己に由来する RNA と比較し、RNA 受容体に対する強いリガンド活性を有することが判明した。また、U11snRNA の強いリガンド活性のメカニズムを解明し、その原理を元に、RNA 受容体を強力に活性化するアゴニスト、および抑制アンタゴニストの作成にもそれぞれ成功した。本成果から、RNA を認識する自然免疫受容体が関与する種々の疾患の発症や増悪のメカニズム解明に繋がることが期待される。また、KN69 やアンタゴニストは疾患の治療薬として、アゴニストは感染症やがんに対するワクチンの効果を高めるアジュバントとして有用である可能性が示唆された。更に化合物 IMF003(SINCRO)については、自然免疫受容体である STING に依存的なシグナル経路を活性化することで、I 型 IFN 応答を活性化し、抗腫瘍作用を示すことを明らかにした (Kimura Y, et al, *Cancer Sci*. 109: 2687-2696, 2018)。

一連の解析から、免疫応答の制御に関与する自己由来分子が複数同定され、それらが疾患病態とも密接に関与することも明らかとなった。本研究において、免疫応答、恒常性維持機構の制御に関わる DAMP バイオロジーの解明、および疾患の治療応用に向けた研究基盤を構築した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計149件（うち査読付論文 149件／うち国際共著 85件／うちオープンアクセス 90件）

1. 著者名 Negishi H, Endo H, Nakajima Y, Nishiyama T, Tabunoki Y, Nishio J, Koshiba R, Matsuda A, Matsuki K, Okamura T, Negishi-Koga T, Ichinohe T, Takemura A, Ishiwata H, Iemura S, Natsume T, Abe T, Kiyonari H, Doi T, Hangai S, Yanai H, Fujio K, Yamamoto K, Taniguchi T	4. 巻 116
2. 論文標題 Identification of U11snRNA as an Endogenous Agonist of TLR7-mediated Immune Pathogenesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 23653-23661
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1915326116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato Rika, Sumitomo Shuji, Tsuchida Yumi, Tsuchiya Haruka, Nakachi Shinichiro, Sakurai Keiichi, Hanata Norio, Nagafuchi Yasuo, Kubo Kanae, Tateishi Shoko, Kanda Hiroko, Okamura Tomohisa, Yamamoto Kazuhiko, Fujio Keishi	4. 巻 10
2. 論文標題 CD4+CD25+LAG3+ T Cells With a Feature of Th17 Cells Associated With Systemic Lupus Erythematosus Disease Activity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 1619-1619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01619	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima Yusuke, Iwasaki Yukiko, Fujio Keishi, Yamamoto Kazuhiko	4. 巻 48
2. 論文標題 Metabolism as a key regulator in the pathogenesis of systemic lupus erythematosus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Seminars in Arthritis and Rheumatism	6. 最初と最後の頁 1142 ~ 1145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.semarthrit.2019.04.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagafuchi Yasuo, Shoda Hirofumi, Fujio Keishi	4. 巻 8
2. 論文標題 Immune Profiling and Precision Medicine in Systemic Lupus Erythematosus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 140 ~ 140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells8020140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miura Takayuki, Kawakami Kazuyoshi, Kanno Emi, Tanno Hiromasa, Tada Hiroyuki, Sato Noriko, Masaki Airi, Yokoyama Rin, Kawamura Kotone, Kitai Yuki, Takagi Naoyuki, Yamaguchi Kenji, Yamaguchi Natsuki, Kyo Yoshika, Ishii Keiko, Imai Yoshimichi, Saijo Shinobu, Iwakura Yoichiro, Tachi Masahiro	4. 巻 139
2. 論文標題 Dectin-2 Mediated Signaling Leads to Delayed Skin Wound Healing through Enhanced Neutrophilic Inflammatory Response and Neutrophil Extracellular Trap Formation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 702 ~ 711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2018.10.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fan Qin, Tao Rong, Zhang Hang, Xie Hongyang, Lu Lin, Wang Ting, Su Min, Hu Jian, Zhang Qi, Chen Qiuqing, Iwakura Yoichiro, Shen Weifeng, Zhang Ruiyan, Yan Xiaoxiang	4. 巻 139
2. 論文標題 Dectin-1 Contributes to Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury by Regulating Macrophage Polarization and Neutrophil Infiltration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circulation	6. 最初と最後の頁 663 ~ 678
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.036044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiratori Kanako, Kanemaru Kaori, Ogura Takahiro, Nakajima Aya, Sugizaki Yuko, Fukuyama Takatsugu, Iwakura Yoichiro, Nakamura Yoshikazu, Fukami Kiyoko	4. 巻 511
2. 論文標題 Epidermal loss of phospholipase C 1 attenuates irritant contact dermatitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 330 ~ 335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.02.046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Naoko, Ishida Nanae, Ibi Miho, Saito Maki, Takahashi Masafumi, Taniguchi Shunichiro, Iwakura Yoichiro, Morino Yoshihiro, Taira Eiichi, Sawa Yohei, Hirose Masamichi	4. 巻 42
2. 論文標題 IL-1 Plays an Important Role in Pressure Overload-Induced Atrial Fibrillation in Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 543 ~ 546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b18-00363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Schwartz Christian, Moran Tara, Saunders Sean P., Kaszlikowska Agnieszka, Floudas Achilleas, Bom Joana, Nunez Gabriel, Iwakura Yoichiro, O'Neill Luke, Irvine Alan D., McKenzie Andrew N. J., Ogg Graham, Walsh Patrick T., Demengeot Jocelyne, Fallon Padraic G.	4. 巻 74
2. 論文標題 Spontaneous atopic dermatitis in mice with a defective skin barrier is independent of ILC2 and mediated by IL 1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1920 ~ 1933
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13801	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tang Ce, Makusheva Yulia, Sun Haiyang, Han Wei, Iwakura Yoichiro	4. 巻 106
2. 論文標題 Myeloid C type lectin receptors in skin/mucoepithelial diseases and tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Leukocyte Biology	6. 最初と最後の頁 903 ~ 917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/JLB.2R10119-031R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lau Lena, Porciuncula Angelo, Yu Alex, Iwakura Yoichiro, David Gregory	4. 巻 39
2. 論文標題 Uncoupling the Senescence-Associated Secretory Phenotype from Cell Cycle Exit via Interleukin-1 Inactivation Unveils Its Protumorigenic Role	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular and Cellular Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00586-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Drummond Rebecca A., Swamydas Muthulekha, Oikonomou Vasileios, Zhai Bing, Dambuza Ivy M., Schaefer Brian C., Bohrer Andrea C., Mayer-Barber Katrin D., Lira Sergio A., Iwakura Yoichiro, Filler Scott G., Brown Gordon D., Hube Bernhard, Naglik Julian R., Hohl Tobias M., Lionakis Michail S.	4. 巻 20
2. 論文標題 CARD9+ microglia promote antifungal immunity via IL-1 - and CXCL1-mediated neutrophil recruitment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Immunology	6. 最初と最後の頁 559 ~ 570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-019-0377-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Byk Hananel, Huang Guo-Jen, Iwakura Yoichiro, Yarom Yosef	4. 巻 13
2. 論文標題 Large Scale Calcium Imaging of the Cerebellar Vermis During Sensory Stimulus Unravels Two Response 's Components That Differ in Their Spatiotemporal Properties	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Systems Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnsys.2019.00018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyabe Chie, Miyabe Yoshishige, Bricio-Moreno Laura, Lian Jeffrey, Rahimi Rod A., Miura Noriko N., Ohno Naohito, Iwakura Yoichiro, Kawakami Tamihito, Luster Andrew D.	4. 巻 129
2. 論文標題 Dectin-2 induced CCL2 production in tissue-resident macrophages ignites cardiac arteritis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 3610 ~ 3624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI123778	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Blanco-Perez Frank, Kato Yoichiro, Gonzalez-Menendez Irene, Laino Jonathan, Ohbayashi Masaharu, Burggraf Manja, Krause Maren, Kirberg J?rg, Iwakura Yoichiro, Martella Manuela, Quintanilla-Martinez Leticia, Shibata Noriyuki, Vieths Stefan, Scheurer Stephan, Toda Masako	4. 巻 9
2. 論文標題 CCR8 leads to eosinophil migration and regulates neutrophil migration in murine allergic enteritis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-45653-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hupa Kristof Johannes, Stein Kathy, Schneider Reiner, Lysson Mariola, Schneiker Bianca, Hornung Veit, Latz Eicke, Iwakura Yoichiro, Kalff J?rg C., Wehner Sven	4. 巻 9
2. 論文標題 AIM2 inflammasome-derived IL-1 induces postoperative ileus in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46968-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 106.Sakurai, K., Dainichi, T., Garcet, S., Tsuchiya, S., Yamamoto, Y., Kitoh, A., Honda, T., Nomura, T., Egawa, G., Otsuka, A., Nakajima, S., Matsumoto, R., Nakano, Y., Otsuka, M., Iwakura, Y., Grinberg-Bleyer, Y., Ghosh, S., Sugimoto, Y., Guttman-Yassky, E., Krueger, J. G., and Kabashima, K.	4. 巻 144
2. 論文標題 Cutaneous p38 mitogen-activated protein kinase activation triggers psoriatic dermatitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1036 ~ 1049
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2019.06.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanno Emi, Tanno Hiromasa, Masaki Airi, Sasaki Ayako, Sato Noriko, Goto Maiko, Shisai Mayu, Yamaguchi Kenji, Takagi Naoyuki, Shoji Miki, Kitai Yuki, Sato Ko, Kasamatsu Jun, Ishii Keiko, Miyasaka Tomomitsu, Kawakami Kaori, Imai Yoshimichi, Iwakura Yoichiro, Maruyama Ryoko, Tachi Masahiro, Kawakami Kazuyoshi	4. 巻 20
2. 論文標題 Defect of Interferon Leads to Impaired Wound Healing through Prolonged Neutrophilic Inflammatory Response and Enhanced MMP-2 Activation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 5657 ~ 5657
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20225657	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Walrath Travis, Malizia Robert A., Zhu Xinjun, Sharp Stephen P., D'Souza Shanti S., Lopez-Soler Reynold, Parr Brian, Kartchner Brittany, Lee Edward C., Stain Steven C., Iwakura Yoichiro, O'Connor William	4. 巻 318
2. 論文標題 IFN- and IL-17A regulate intestinal crypt production of CXCL10 in the healthy and inflamed colon	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Journal of Physiology-Gastrointestinal and Liver Physiology	6. 最初と最後の頁 G479 ~ G489
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/ajpgi.00208.2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chunyan Yu, Xiulong Niu, Yongrui Du, Yan Chen, Xiaomei Liu, Lingling Xu, Yoichiro Iwakura, Xiaoxia Ma, Yan Li, Zhi Yao & Weimin Deng	4. 巻 69
2. 論文標題 IL-17A promotes fatty acid uptake through the IL-17A/IL-17RA/p-STAT3/FABP4 axis to fuel ovarian cancer growth in an adipocyte-rich microenvironment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Immunother	6. 最初と最後の頁 115-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00262-019-02445-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Scheffler J. M., Grahemo L., Engdahl C., Drevinge C., Gustafsson K. L., Corciulo C., Lawenius L., Iwakura Y., Sjögren K., Lagerquist M. K., Carlsten H., Ohlsson C., Islander U.	4. 巻 10
2. 論文標題 Interleukin 17A: a Janus-faced regulator of osteoporosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-62562-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Yoshitaka, Negishi Hideo, Matsuda Atsushi, Endo Nobuyasu, Hangai Sho, Inoue Asuka, Nishio Junko, Taniguchi Tadatsugu, Yanai Hideyuki	4. 巻 109
2. 論文標題 Novel chemical compound SINCRO with dual function in STING-type I interferon and tumor cell death pathways	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2687 ~ 2696
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13726	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai Hideyuki, Chiba Shiho, Hangai Sho, Kometani Kohei, Inoue Asuka, Kimura Yoshitaka, Abe Takaya, Kiyonari Hiroshi, Nishio Junko, Taguchi-Atarashi Naoko, Mizushima Yu, Negishi Hideo, Grosschedl Rudolf, Taniguchi Tadatsugu	4. 巻 115
2. 論文標題 Revisiting the role of IRF3 in inflammation and immunity by conditional and specifically targeted gene ablation in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 5253 ~ 5258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1803936115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Negishi Hideo, Taniguchi Tadatsugu, Yanai Hideyuki	4. 巻 10
2. 論文標題 The Interferon (IFN) Class of Cytokines and the IFN Regulatory Factor (IRF) Transcription Factor Family	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cold Spring Harbor Perspectives in Biology	6. 最初と最後の頁 a028423 ~ a028423
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/cshperspect.a028423	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishimoto Yuina, Ishibashi Ken-ichi, Yamanaka Daisuke, Adachi Yoshiyuki, Kanzaki Ken, Iwakura Yoichiro, Ohno Naohito	4. 巻 107
2. 論文標題 Production of low-molecular weight soluble yeast β -glucan by an acid degradation method	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Biological Macromolecules	6. 最初と最後の頁 2269 ~ 2278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijbiomac.2017.10.094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogura Keisuke, Sato-Matsushita Marimo, Yamamoto Seiji, Hori Takashi, Sasahara Masakiyo, Iwakura Yoichiro, Saiki Ikuo, Tahara Hideaki, Hayakawa Yoshihiro	4. 巻 6
2. 論文標題 NK Cells Control Tumor-Promoting Function of Neutrophils in Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Immunology Research	6. 最初と最後の頁 348 ~ 357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-17-0204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Kaori, Murayama Masanori A., Shimizu Kenji, Tang Ce, Katagiri Nanako, Matsuo Kenzo, Fukai Fumio, Iwakura Yoichiro	4. 巻 496
2. 論文標題 IL-1R2 deficiency suppresses dextran sodium sulfate-induced colitis in mice via regulation of microbiota	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 934 ~ 940
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.01.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Shou, Lee Ji Shin, Jie Chunfa, Park Min Ho, Iwakura Yoichiro, Patel Yogin, Soni Mithil, Reisman David, Chen Hexin	4. 巻 78
2. 論文標題 HER2 Overexpression Triggers an IL1 Proinflammatory Circuit to Drive Tumorigenesis and Promote Chemotherapy Resistance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 2040 ~ 2051
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-17-2761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhu Gaizhi, Liu Xiaoling, Fang Ying, Zhai Bing, Xu Ruonan, Han Gencheng, Chen Guojian, Xiao He, Hou Chunmei, Shen Beifen, Li Yan, Iwakura Yoichiro, Wang Liang, Jiang Zhenyu, Ma Ning, Liu Guangchao, Wang Renxi	4. 巻 328
2. 論文標題 Increased mTOR cancels out the effect of reduced Xbp-1 on antibody secretion in IL-1 - deficient B cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cellular Immunology	6. 最初と最後の頁 9~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cellimm.2018.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suto Hajime, Nambu Aya, Morita Hideaki, Yamaguchi Sachiko, Numata Takafumi, Yoshizaki Takamichi, Shimura Eri, Arae Ken, Asada Yousuke, Motomura Kenichiro, Kaneko Mari, Abe Takaya, Matsuda Akira, Iwakura Yoichiro, Okumura Ko, Saito Hirohisa, Matsumoto Kenji, Sudo Katsuko, Nakae Susumu	4. 巻 142
2. 論文標題 IL-25 enhances TH17 cell-mediated contact dermatitis by promoting IL-1 production by dermal dendritic cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1500~1509.e10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2017.12.1007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tong Honglian, Miyake Yasunobu, Mi-ichi Fumika, Iwakura Yoichiro, Hara Hiromitsu, Yoshida Hiroki	4. 巻 13
2. 論文標題 Apaf1 plays a negative regulatory role in T cell responses by suppressing activation of antigen-stimulated T cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0195119~0195119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0195119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jeschke Jonathan C., Mayne Christopher G., Ziegelbauer Jennifer, DeCiantis Christopher L., Singh Selina, Kumar Suresh N., Suchi Mariko, Iwakura Yoichiro, Drobyski William R., Salzman Nita H, Williams Calvin B.	4. 巻 11
2. 論文標題 A model of TH17-associated ileal hyperplasia that requires both IL-17A and IFN to generate self-tolerance and prevent colitis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 1127~1137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-018-0023-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashiguchi Yuriko, Yabe Rikio, Chung Soo-Hyun, Murayama Masanori A., Yoshida Kaori, Matsuo Kenzo, Kubo Sachiko, Saijo Shinobu, Nakamura Yuumi, Matsue Hiroyuki, Iwakura Yoichiro	4. 巻 201
2. 論文標題 IL-36 from Skin-Resident Cells Plays an Important Role in the Pathogenesis of Imiquimod-Induced Psoriasiform Dermatitis by Forming a Local Autoamplification Loop	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 167 ~ 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1701157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isoda Kikuo, Akita Koji, Kitamura Kenichi, Sato-Okabayashi Yayoi, Kadoguchi Tomoyasu, Isobe Sarasa, Ohtomo Fumie, Sano Motoaki, Shimada Kazunori, Iwakura Yoichiro, Daida Hiroyuki	4. 巻 270
2. 論文標題 Inhibition of interleukin-1 suppresses angiotensin II-induced aortic inflammation and aneurysm formation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Cardiology	6. 最初と最後の頁 221 ~ 227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijcard.2018.05.072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tang Ce, Kakuta Shigeru, Shimizu Kenji, Kadoki Motohiko, Kamiya Tomonori, Shimazu Tomoyuki, Kubo Sachiko, Saijo Shinobu, Ishigame Harumichi, Nakae Susumu, Iwakura Yoichiro	4. 巻 19
2. 論文標題 Suppression of IL-17F, but not of IL-17A, provides protection against colitis by inducing Treg cells through modification of the intestinal microbiota	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Immunology	6. 最初と最後の頁 755 ~ 765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-018-0134-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibue Yasushi, Kimura Soichiro, Kajiwara Chiaki, Iwakura Yoichiro, Yamaguchi Keizo, Tateda Kazuhiro	4. 巻 21
2. 論文標題 Role of interleukin-17 in a murine community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus pneumonia model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbes and Infection	6. 最初と最後の頁 33 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.micinf.2018.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Keigo, Urai Makoto, Sadamoto Sota, Shinozaki Minoru, Takatsuka Shogo, Abe Masahiro, Otani Yoshiko, Yanagihara Nao, Shimizu Kiminori, Iwakura Yoichiro, Shibuya Kazutoshi, Miyazaki Yoshitsugu, Kinjo Yuki	4. 巻 12
2. 論文標題 A dendritic cell-based systemic vaccine induces long-lived lung-resident memory Th17 cells and ameliorates pulmonary mycosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 265 ~ 276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-018-0094-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Numata Takafumi, Yoshizaki Takamichi, Yamaguchi Sachiko, Shimura Eri, Iwakura Yoichiro, Harada Kazutoshi, Sudo Katsuko, Tsuboi Ryoji, Nakae Susumu	4. 巻 506
2. 論文標題 IL-36 is involved in hapten-specific T-cell induction, but not local inflammation, during contact hypersensitivity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 429 ~ 436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.10.104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Cun-Jin, Jiang Meiling, Zhou Hao, Liu Weiwei, Wang Chenhui, Kang Zizhen, Han Bing, Zhang Quanri, Chen Xing, Xiao Jianxin, Fisher Amanda, Kaiser William J., Murayama Masanori A., Iwakura Yoichiro, Gao Ji, Carman Julie, Dongre Ashok, Dubyak George, Abbott Derek W., Shi Fu-Dong, Ransohoff Richard M., Li Xiaoxia	4. 巻 128
2. 論文標題 TLR-stimulated IRAKM activates caspase-8 inflammasome in microglia and promotes neuroinflammation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 5399 ~ 5412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI121901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miura Takayuki, Kawakami Kazuyoshi, Kanno Emi, Tanno Hiromasa, Tada Hiroyuki, Sato Noriko, Masaki Airi, Yokoyama Rin, Kawamura Kotone, Kitai Yuki, Takagi Naoyuki, Yamaguchi Kenji, Yamaguchi Natsuki, Kyo Yoshika, Ishii Keiko, Imai Yoshimichi, Saijo Shinobu, Iwakura Yoichiro, Tachi Masahiro	4. 巻 139
2. 論文標題 Dectin-2-Mediated Signaling Leads to Delayed Skin Wound Healing through Enhanced Neutrophilic Inflammatory Response and Neutrophil Extracellular Trap Formation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 702 ~ 711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2018.10.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fan Qin, Tao Rong, Zhang Hang, Xie Hongyang, Lu Lin, Wang Ting, Su Min, Hu Jian, Zhang Qi, Chen Qiuqing, Iwakura Yoichiro, Shen Weifeng, Zhang Ruiyan, Yan Xiaoxiang	4. 巻 139
2. 論文標題 Dectin-1 Contributes to Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury by Regulating Macrophage Polarization and Neutrophil Infiltration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circulation	6. 最初と最後の頁 663 ~ 678
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.036044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiratori Kanako, Kanemaru Kaori, Ogura Takahiro, Nakajima Aya, Sugizaki Yuko, Fukuyama Takatsugu, Iwakura Yoichiro, Nakamura Yoshikazu, Fukami Kiyoko	4. 巻 511
2. 論文標題 Epidermal loss of phospholipase C 1 attenuates irritant contact dermatitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 330 ~ 335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.02.046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Naoko, Ishida Nanae, Ibi Miho, Saito Maki, Takahashi Masafumi, Taniguchi Shunichiro, Iwakura Yoichiro, Morino Yoshihiro, Taira Eiichi, Sawa Yohei, Hirose Masamichi	4. 巻 42
2. 論文標題 IL-1 Plays an Important Role in Pressure Overload-Induced Atrial Fibrillation in Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 543 ~ 546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b18-00363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuchida Yumi, Sumitomo Shuji, Ota Mineto, Tsuchiya Haruka, Nagafuchi Yasuo, Shoda Hirofumi, Fujio Keishi, Ishigaki Kazuyoshi, Yamaguchi Kensuke, Suzuki Akari, Kochi Yuta, Yamamoto Kazuhiko	4. 巻 70
2. 論文標題 Reduction of CD83 Expression on B Cells and the Genetic Basis for Rheumatoid Arthritis: Comment on the Article by Thalayasingam et al	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Arthritis & Rheumatology	6. 最初と最後の頁 1695 ~ 1696
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/art.40652	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikenoue, T., Terakado, Y., Zhu, C., Liu, X., Ohsugi, T., Matsubara, D., Fujii, T., Kakuta, S., Kubo, S., Shibata, T., Yamaguchi, K., Iwakura, Y., and Furukawa, Y.	4. 巻 8
2. 論文標題 Establishment and analysis of a novel mouse line carrying a conditional knockin allele of a cancer-specific FBXW7 mutation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 2021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19769-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Liu, S., Lee, J. S., Jie, C., Park, M. H., Iwakura, Y., Patel, Y., Soni, M., Reisman, D., and Chen, H.	4. 巻 -
2. 論文標題 HER2 overexpression triggers an IL-1 pro-inflammatory circuit to drive tumorigenesis and promote chemotherapy resistance.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-17-2761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida, K., Murayama, M., Shimizu, K., Tang, C., Katagiri, N., Matsuo, K., Fukai F., and Iwakura, Y.	4. 巻 496
2. 論文標題 IL-1R2 deficiency suppresses dextran sodium sulfate-induced colitis in mice via regulation of microbiota.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.	6. 最初と最後の頁 934-940
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.01.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ogura, K., Sato-Matsushita, M., Yamamoto, S., Hori, T., Sasahara, M., Iwakura, Y., Saiki, I., Tahara, H., and Hayakawa, Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 NK cells control tumor-promoting function of neutrophils in mice.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Immunol. Res.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-17-0204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kochi, Y., et. al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Splicing variant of WDFY4 augments MDA5 signalling and the risk of clinically amyopathic dermatomyositis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ann Rheum Dis.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/annrheumdis-2017-212149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Negishi, H., Taniguchi, T., Yanai, H.	4. 巻 -
2. 論文標題 The Interferon (IFN) Class of Cytokines and the IFN Regulatory Factor (IRF) Transcription Factor Family.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cold Spring Harb Perspect Biol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/cshperspect.a028423	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yanai, H., Taniguchi, T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Fine-tuning type I IFN signaling: A new chapter in the IFN saga.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Res.	6. 最初と最後の頁 1407-1408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/cr.2017.118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sarashina-Kida, H., Negishi, H., Nishio, J., Suda, W., Nakajima, Y., Yasui-Kato, M., Iwaisako, K., Kang, S., Endo, N., Yanai, H., Asagiri, M., Kida, H., Hattori, M., Kumanogo, A., and Taniguchi, T.	4. 巻 114
2. 論文標題 Gallbladder-derived surfactant protein D regulates gut commensal bacteria for maintaining intestinal homeostasis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U. S. A.	6. 最初と最後の頁 10178-10183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1712837114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuge, M., Uchida, T., Hiraga, N., Kan, H., Makokha, G. N., Abe-Chayama, H., Miki, D., Imamura, M., Ochi, H., Hayes, C. N., Shimozone, R., Iwamura, T., Narumi, H., Suzuki, T., Kainoh, M., Taniguchi, T., Chayama, K.	4. 巻 24
2. 論文標題 Development of a novel site-specific pegylated interferon beta for antiviral therapy for chronic hepatitis B virus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Antimicrob Agents Chemother.	6. 最初と最後の頁 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/AAC.00183-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwamura, T., Narumi, H., Suzuki, T., Yanai, H., Mori, K., Yamashita, K., Tsushima, Y., Asano, T., Izawa, A., Momen, S., Nishimura, K., Tsuchiyama, H., Uchida, M., Yamashita, Y., Okano, K., Taniguchi, T.	4. 巻 108
2. 論文標題 A novel pegylated IFN- as strong suppressor of the malignant ascites in a peritoneal metastasis model of human cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 581-589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13176	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takemiya, T., Fumizawa, K., Yamagata, K., Iwakura, Y., Kawakami, M.	4. 巻 11
2. 論文標題 Brain interleukin-1 facilitates learning of a water maze spatial memory task in young mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Behav Neurosci.	6. 最初と最後の頁 202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2017.00202	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lamprinakaki, D., Beasy, G., Zhekova, A., Wittmann, A., James, S., Dicks, J., Iwakura, Y., Saijo, S., Wang, X., Chow, C. W., Roberts, I., Korcsmaros, T., Mayer, U., Wileman, T., and Kawasaki, N.	4. 巻 8
2. 論文標題 LC3-associated phagocytosis is required for dendritic cell inflammatory cytokine response to gut commensal yeast <i>Saccharomyces cerevisiae</i> .	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front. Immunol.	6. 最初と最後の頁 1397
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2017.01397	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishimoto, Y., Ishibashi, K. I., Yamanaka, D., Adachi, Y., Kanzaki, K., Iwakura, Y., and Ohno, N.	4. 巻 107
2. 論文標題 Production of low-molecular weight soluble yeast α -glucans by an acid degradation method.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int. J. Biol. Macromol.	6. 最初と最後の頁 2269-2278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2017.86	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chenuet, P., Fauconnier, L., Madouri, F., Marchiol, T., Rouxel, N., Ledru, A., Mauny, P., Lory, R., Uttenhove, C., van Snick, J., Iwakura, Y., di Padova, F., Quesniaux, V., Togbe, D., and Ryffel, B.	4. 巻 131
2. 論文標題 Neutralization of either IL-17A or IL-17F is sufficient to inhibit house dust mite induced allergic asthma in mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin. Sci. (Lond)	6. 最初と最後の頁 2533-2548
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/CS20171034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 DeLoer, S., Nakamura, R., Kikuchi, M., Moriyasu, T., Kalenda, Y. D. J., Mohammed, E. S., Senba, M., Iwakura, Y., Yoshida, H., and Hamano, S.	4. 巻 66
2. 論文標題 IL-17A contributes to reducing IFN- γ /IL-4 ratio and persistence of Entamoeba histolytica during intestinal amebiasis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Parasitol. Int.	6. 最初と最後の頁 817-823
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2017.09.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Moroda, M., Takamoto, M., Iwakura, Y., Nakayama, J., and Aosai, F.	4. 巻 85
2. 論文標題 IL-17A-deficient mice are highly susceptible to Toxoplasma gondii infection due to excessively induced T. gondii HSP70 and IFN- γ production.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Infect. Immun.	6. 最初と最後の頁 00399-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/IAI.00399-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang, J., Ge, P., Qiang, L., Tian, F., Zhao, D., Chai, Q., Zhu, M., Zhou, R., Meng, G., Iwakura, Y., Gao, G. F., and Liu, C. H.	4. 巻 8
2. 論文標題 The mycobacterial phosphatase PtpA regulates the expression of host genes and promotes cell proliferation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1700655	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Brown, B. R., Lee, E. J., Snow, P. E., Vance, E. E., Iwakura, Y., Ohno, N., Miura, N., Lin, X., Brown, G. D., Wells, C. A., Smith, J. R., Caspi, R. R., and Rosenzweig, H. L.	4. 巻 190
2. 論文標題 Fungal-derived cues promote ocular autoimmunity through a Dectin-2/Card9-mediated mechanism.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin. Exp. Immunol.	6. 最初と最後の頁 293-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cei.13021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 St Leger, A. J., Desai, J. V., Drummond, R. A., Kugadas, A., Almaghrabi, F., Silver, P., Raychaudhuri, K., Gadjeva, M., Iwakura, Y., Lionakis, M., and Caspi, R. R.	4. 巻 47
2. 論文標題 An ocular commensal protects from corneal infection by driving an IL-17 response from mucosal T cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 148-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2017.06.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maruyama, K., Takayama, Y., Kondo, T., Ishibashi, K. I., Sahoo, B. R., Kanemaru, H., Kumagai, Y., Martino, M. M., Tanaka, H., Ohno, N., Iwakura, Y., Takemura, N., Tominaga, M., and Akira, S.	4. 巻 19
2. 論文標題 Nociceptors boost the resolution of fungal osteo-inflammation via the TRP channel-CGRP-Jdp2 axis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 2730-2742
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura, F., Okada, T., Shishikura, M., Uetani, N., Taniguchi, M., Yagi, T., Iwakura, Y., Ohshima, T., Goshima, Y., and Strittmatter, S. M.	4. 巻 37
2. 論文標題 Protein tyrosine phosphatase mediates the Sema3A-induced cortical basal dendritic arborization through the activation of Fyn tyrosine kinase.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Neurosci.	6. 最初と最後の頁 7125-7139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.2519-16.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Giles, D. A., et.al.	4. 巻 23
2. 論文標題 Thermoneutral housing exacerbates nonalcoholic fatty liver disease in mice and allows for sex-independent disease modeling.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat. Med.	6. 最初と最後の頁 829-838
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nm.4346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishimoto, Y., Ishibashi, K. I., Yamanaka, D., Adachi, Y., Kanzaki, K., Okita, K., Iwakura, Y., and Ohno, N.	4. 巻 104
2. 論文標題 Modulation of an innate immune response by soluble yeast β -glucan prepared by a heat degradation method.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int. J. Biol. Macromol.	6. 最初と最後の頁 367-376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijbiomac.2017.06.036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang, C., Feng, J., Du, J., Zhuo, Z., Yang, S., Zhang, W., Wang, W., Zhang, S., Iwakura, Y., Meng, G., Fu, Y. X., Hou, B., and Tang, H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Macrophage-derived IL-1 promotes sterile inflammation in a mouse model of acetaminophen hepatotoxicity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell. Mol. Immunol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/cmi.2017.22	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanemaru, K., Nakamura, Y., Totoki, K., Fukuyama, T., Shoji, M., Kaneko, H., Shiratori, K., Yoneda, A., Inoue, T., Iwakura, Y., Kabashima, K., and Fukami, K.	4. 巻 24
2. 論文標題 Phospholipase C 1 regulates p38 MAPK activity and skin barrier integrity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Death Differ.	6. 最初と最後の頁 1079-1090
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/cdd.2017.56	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Cunin, P., Penke, L. R., Thon, J. N., Monach, P. A., Jones, T., Chang, M. H., Chen, M. M., Melki, I., Lacroix, S., Iwakura, Y., Ware, J., Gurish, M. F., Italiano, J. E., Boilard, E., and Nigrovic, P. A.	4. 巻 27
2. 論文標題 Megakaryocytes compensate for Kit insufficiency in murine arthritis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Clin. Invest.	6. 最初と最後の頁 1714-1724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI84598	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morita, M., Iwasaki, R., Sato, Y., Kobayashi, T., Watanabe, R., Oike, T., Nakamura, S., Keneko, Y., Miyamoto, K., Ishihara, K., Iwakura, Y., Ishii, K., Matsumoto, M., Nakamura, M., Kawana, H., Nakagawa, T., and Miyamoto, T.	4. 巻 7
2. 論文標題 Elevation of pro-inflammatory cytokine levels following anti-resorptive drug treatment is required for osteonecrosis development in infectious osteomyelitis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 46322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46322	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Cunin, P., Penke, L. R., Thon, J. N., Monach, P. A., Jones, T., Chang, M. H., Chen, M. M., Melki, I., Lacroix, S., Iwakura, Y., Ware, J., Gurish, M. F., Italiano, J. E., Boilard, E., and Nigrovic, P. A.	4. 巻 27
2. 論文標題 Megakaryocytes compensate for Kit insufficiency in murine arthritis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Clin. Invest.	6. 最初と最後の頁 1714-1724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI84598	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yan, X., Zhang, H., Fan, Q., Hu, J., Tao, R., Chen, Q., Iwakura, Y., Shen, W., Lu, L., Zhang, Q., and Zhang, R.	4. 巻 120
2. 論文標題 Dectin-2 deficiency modulates Th1 differentiation and improves wound healing after myocardial infarction.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Circ. Res.	6. 最初と最後の頁 1116-1129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCRESAHA.116.310260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Furukawa, K., Fuse, I., Iwakura, Y., Sotoyama, H., Hanyu, O., Nawa, H., Sone, H., and Takei, N.	4. 巻 16
2. 論文標題 Advanced glycation end products induce brain-derived neurotrophic factor release from human platelets through the Src-family kinase activation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cardiovasc. Diabetol.	6. 最初と最後の頁 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12933-017-0505-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujio, K., Yamamoto, K., and Okamura, T.	4. 巻 410
2. 論文標題 Overview of LAG-3-Expressing, IL-10-Producing Regulatory T Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Curr Top Microbiol Immunol.	6. 最初と最後の頁 29-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/82_2017_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shoda, H., Nagafuchi, Y., Tsuchida, Y., Sakurai, K., Sumitomo, S., Fujio, K., and Yamamoto, K.	4. 巻 19
2. 論文標題 Increased serum concentrations of IL-1 beta, IL-21 and Th17 cells in overweight patients with rheumatoid arthritis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Arthritis Res Ther.	6. 最初と最後の頁 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13075-017-1308-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishigaki, K., Kochi, Y., Suzuki, A., Tsuchida, Y., Tsuchiya, H., Sumitomo, S., Yamaguchi, K., Nagafuchi, Y., Nakachi, S., Kato, R., Sakurai, K., Shoda, H., Ikari, K., Taniguchi, A., Yamanaka, H., Miya, F., Tsunoda, T., Okada, Y., Momozawa, Y., Kamatani, Y., Yamada, R., Kubo, M., Fujio, K., and Yamamoto, K.	4. 巻 49
2. 論文標題 Polygenic burdens on cell-specific pathways underlie the risk of rheumatoid arthritis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat. Genet.	6. 最初と最後の頁 1120-1125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3885	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakachi, S., Sumitomo, S., Tsuchida, Y., Tsuchiya, H., Kono, M., Kato, R., Sakurai, K., Hanata, N., Nagafuchi, Y., Tateishi, S., Kanda, H., Okamura, T., Yamamoto, K., and Fujio, K.	4. 巻 19
2. 論文標題 Interleukin-10-producing LAG3+ regulatory T cells are associated with disease activity and abatacept treatment in rheumatoid arthritis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Arthritis Res. Ther.	6. 最初と最後の頁 97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13075-017-1309-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuchida, Y., Sumitomo, S., Ishigaki, K., Suzuki, A., Kochi, Y., Tsuchiya, H., Ota, M., Komai, T., Inoue, M., Morita, K., Okamura, T., Yamamoto, K., and Fujio, K.	4. 巻 12
2. 論文標題 TGF- β 3 Inhibits Antibody Production by Human B Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 169646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0169646	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sumitomo, S., Nakachi, S., Okamura, T., Tsuchida, Y., Kato, R., Shoda, H., Furukawa, A., Kitahara, N., Kondo, K., Yamasoba, T., Yamamoto, K., and Fujio, K.	4. 巻 76
2. 論文標題 Identification of tonsillar CD4+CD25-LAG3+ T cells as naturally occurring IL-10-producing regulatory T cells in human lymphoid tissue.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Autoimmun.	6. 最初と最後の頁 75-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaut.2016.09.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Y., Inoue A., Hangai S., Saijo S., Negishi H., Nishio J., Yamasaki S., Iwakura Y., Yanai H., Taniguchi T.	4. 巻 113
2. 論文標題 The innate immune receptor Dectin-2 mediates the phagocytosis of cancer cells by Kupffer cells for the suppression of liver metastasis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U S A.	6. 最初と最後の頁 14097-14102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1617903113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ban T., Sato G.R., Nishiyama A., Akiyama A., Takasuna M., Umehara M., Suzuki S., Ichino M., Matsunaga S., Kimura A., Kimura Y., Yanai H., Miyashita S., Kuromitsu J., Tsukahara K., Yoshimatsu K., Endo I., Yamamoto T., Hirano H., Ryo A., Taniguchi T., Tamura T.	4. 巻 45
2. 論文標題 Lyn Kinase Suppresses the Transcriptional Activity of IRF5 in the TLR-MyD88 Pathway to Restrain the Development of Autoimmunity.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 319-332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2016.07.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hangai S., Ao T., Kimura Y., Matsuki K., Kawamura T., Negishi H., Nishio J., Kodama T., Taniguchi T., Yanai H.	4. 巻 113
2. 論文標題 PGE2 induced in and released by dying cells functions as an inhibitory DAMP.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U S A.	6. 最初と最後の頁 3844-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1602023113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwamura T., Narumi H., Suzuki T., Yanai H., Mori K., Yamashita K., Tsushima Y., Asano T., Izawa A., Momen S., Nishimura K., Tsuchiyama H., Uchida M., Yamashita Y., Okano K., Taniguchi T.	4. 巻 -
2. 論文標題 A novel pegylated IFN- as strong suppressor of the malignant ascites in a peritoneal metastasis model of human cancer.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13176.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita K, Okamura T, Inoue M, Komai T, Teruya S, Iwasaki Y, Sumitomo S, Shoda H, Yamamoto K, Fujio K.	4. 巻 113
2. 論文標題 Egr2 and Egr3 in regulatory T cells cooperatively control systemic autoimmunity through Ltbp3-mediated TGF- β 3 production.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U S A.	6. 最初と最後の頁 E8131-E8140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1611286114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumitomo S, Nakachi S, Okamura T, Tsuchida Y, Kato R, Shoda H, Furukawa A, Kitahara N, Kondo K, Yamasoba T, Yamamoto K, Fujio K.	4. 巻 76
2. 論文標題 Identification of tonsillar CD4 \pm CD25 \pm LAG3 \pm T cells as naturally occurring IL-10-producing regulatory T cells in human lymphoid tissue.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of autoimmunity.	6. 最初と最後の頁 75-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaut.2016.09.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akitsu A, Iwakura Y.	4. 巻 6
2. 論文標題 Isolation of joint-infiltrating cells.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bio-Protocol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.1911	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishiguro T, Fukawa T, Akaki K, Nagaoka K, Takeda T, Iwakura Y, Inaba K, Takahara K.	4. 巻 47
2. 論文標題 Absence of DCIR1 reduces the rate of endotoxemic hepatitis in mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur J Immunol.	6. 最初と最後の頁 704-712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eji.201646814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takagi N, Kawakami K, Kanno E, Tanno H, Takeda A, Ishii K, Imai Y, Iwakura Y, Tachi M	4. 巻 26
2. 論文標題 IL-17A promotes neutrophilic inflammation and disturbs acute wound healing in skin.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Dermatol.	6. 最初と最後の頁 137-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.111/exd.13115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue SI, Niikura M, Asahi H, Iwakura Y, Kawakami Y, Kobayashi F.	4. 巻 47
2. 論文標題 Preferentially expanding V ₁₊ T cells are associated with protective immunity against Plasmodium infection in mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur J Immunol.	6. 最初と最後の頁 685-691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eji.201646699	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda E., et al	4. 巻 45
2. 論文標題 Inhaled Fine Particles Induce Alveolar Macrophage Death and Interleukin-1 Release to Promote Inducible Bronchus-Associated Lymphoid Tissue Formation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 1299-1310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2016.11.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Umemura M, Okamoto-Yoshida Y, Yahagi A, Touyama S, Nakae S, Iwakura Y, Matsuzaki G.	4. 巻 4
2. 論文標題 Involvement of IL-17A-producing TCR T cells in late protective immunity against pulmonary Mycobacterium tuberculosis infection.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Immun Inflamm Dis.	6. 最初と最後の頁 401-412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/iid3.121	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito T, Hirose K, Norimoto A, Tamachi T, Yokota M, Saku A, Takatori H, Saijo S, Iwakura Y, Nakajima H.	4. 巻 198
2. 論文標題 Dectin-1 Plays an Important Role in House Dust Mite-Induced Allergic Airway Inflammation through the Activation of CD11b+ Dendritic Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Immunol.	6. 最初と最後の頁 61-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1502393	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida T, Suzuki S, Lai CY, Yamazaki S, Kakuta S, Iwakura Y, Nojima M, Takeuchi Y, Higashihara M, Nakauchi H, Otsu M.	4. 巻 35
2. 論文標題 Pre-Transplantation Blockade of TNF- α -Mediated Oxygen Species Accumulation Protects Hematopoietic Stem Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cells.	6. 最初と最後の頁 989-1002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami T, Hatano S, Yamada H, Iwakura Y, Yoshikai Y.	4. 巻 214
2. 論文標題 Two Types of Interleukin 17A-Producing T Cells in Protection Against Pulmonary Infection With <i>Klebsiella pneumoniae</i> .	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 1752-1761
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiw443	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huang Y, Matsumura Y, Hatano S, Noguchi N, Murakami T, Iwakura Y, Sun X, Ohara N, Yoshikai Y.	4. 巻 22
2. 論文標題 IL-21 inhibits IL-17A-producing T-cell response after infection with <i>Bacillus Calmette-Guérin</i> via induction of apoptosis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Innate Immun.	6. 最初と最後の頁 588-597
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1753425916664125	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maedler K, Schumann DM, Sauter N, Ellingsgaard H, Bosco D, Baertschiger R, Iwakura Y, Oberholzer J, Wollheim CB, Gauthier BR, Donath MY.	4. 巻 65
2. 論文標題 Expression of Concern. Low Concentration of Interleukin-1 Induces FLICE-Inhibitory Protein-Mediated γ -Cell Proliferation in Human Pancreatic Islets.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Diabetes.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2337/db16-ec08a	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki S, Ogawa M, Ohta S, Arima K, Nunomura S, Nanri Y, Mitamura Y, Yoshihara T, Nakamura Y, Yamauchi K, Chibana K, Ishii Y, Lee JJ, Aratani Y, Kakuta S, Kubo S, Iwakura Y, Yoshida H, Izuhara K.	4. 巻 138
2. 論文標題 The potential for repositioning antithyroid agents as antiasthma drugs.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol.	6. 最初と最後の頁 1458-1461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2016.04.047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Y, Nagai N, Tsunekawa N, Sato-Matsushita M, Yoshimoto T, Cua DJ, Iwakura Y, Yagita H, Okada F, Tahara H, Saiki I, Irimura T, Hayakawa Y.	4. 巻 107
2. 論文標題 IL-17A-producing CD30(+) V γ 1 T cells drive inflammation-induced cancer progression.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 1206-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wittmann A, Lamprinaki D, Bowles KM, Katzenellenbogen E, Knirel YA, Whitfield C, Nishimura T, Matsumoto N, Yamamoto K, Iwakura Y, Saijo S, Kawasaki N.	4. 巻 291
2. 論文標題 Dectin-2 Recognizes Mannosylated O-antigens of Human Opportunistic Pathogens and Augments Lipopolysaccharide Activation of Myeloid Cells.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 17629-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.741256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masamoto Y, Arai S, Sato T, Yoshimi A, Kubota N, Takamoto I, Iwakura Y, Yoshimura A, Kadowaki T, Kurokawa M.	4. 巻 44
2. 論文標題 Adiponectin Enhances Antibacterial Activity of Hematopoietic Cells by Suppressing Bone Marrow Inflammation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 1422-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2016.05.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lee MJ, Yoshimoto E, Saijo S, Iwakura Y, Lin X, Katz HR, Kanaoka Y, Barrett NA.	4. 巻 197
2. 論文標題 Phosphoinositide 3-Kinase Regulates Dectin-2 Signaling and the Generation of Th2 and Th17 Immunity.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Immunol.	6. 最初と最後の頁 278-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1502485	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshikawa FS, Yabe R, Iwakura Y, de Almeida SR, Saijo S.	4. 巻 22
2. 論文標題 Dectin-1 and Dectin-2 promote control of the fungal pathogen Trichophyton rubrum independently of IL-17 and adaptive immunity in experimental deep dermatophytosis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Innate Immun.	6. 最初と最後の頁 316-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1753425916645392	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Norlander AE, Saleh MA, Kamat NV, Ko B, Gnecco J, Zhu L, Dale BL, Iwakura Y, Hoover RS, McDonough AA, Madhur MS.	4. 巻 68
2. 論文標題 Interleukin-17A Regulates Renal Sodium Transporters and Renal Injury in Angiotensin II-Induced Hypertension.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 167-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.116.07493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shishikura M, Nakamura F, Yamashita N, Uetani N, Iwakura Y, Goshima Y.	4. 巻 1642
2. 論文標題 Expression of receptor protein tyrosine phosphatase , PTP , in mouse central nervous system.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain Res.	6. 最初と最後の頁 244-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainres.2016.03.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Martin BN, Wang C, Zhang CJ, Kang Z, Gulen MF, Zepp JA, Zhao J, Bian G, Do JS, Min B, Pavicic PG Jr, El-Sanadi C, Fox PL, Akitsu A, Iwakura Y, Sarkar A, Wewers MD, Kaiser WJ, Mocarski ES, Rothenberg ME, Hise AG, Dubyak GR, Ransohoff RM, Li X.	4. 巻 17
2. 論文標題 T cell-intrinsic ASC critically promotes T(H)17-mediated experimental autoimmune encephalomyelitis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Immunol.	6. 最初と最後の頁 583-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ni.3389	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Javed N, Xue G, Lu A, Xing Y, Iwakura Y, Xiao H, Lecoeur H, Spath GF, Meng G.	4. 巻 81
2. 論文標題 Cross reactivity of S. aureus to murine cytokine assays: A source of discrepancy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cytokine	6. 最初と最後の頁 101-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cyto.2016.03.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ciraci C, Janczy JR, Jain N, Haasken S, Pecli E Silva C, Benjamim CF, Sadler JJ, Olivier AK, Iwakura Y, Shayakhmetov DM, Sutterwala FS, Cassel SL.	4. 巻 11
2. 論文標題 Immune Complexes Indirectly Suppress the Generation of Th17 Responses In Vivo.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Plos One	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0151252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono T, Okamoto K, Nakashima T, Nitta T, Hori S, Iwakura Y, Takayanagi H.	4. 巻 7
2. 論文標題 IL-17-producing T cells enhance bone regeneration.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms10928	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lee EJ, Brown BR, Vance EE, Snow PE, Silver PB, Heinrichs D, Lin X, Iwakura Y, Wells CA, Caspi RR, Rosenzweig HL.	4. 巻 196
2. 論文標題 Mincle Activation and the Syk/Card9 Signaling Axis Are Central to the Development of Autoimmune Disease of the Eye.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Immunol.	6. 最初と最後の頁 3148-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1502355	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Giles DA, Moreno-Fernandez ME, Stankiewicz TE, Cappelletti M, Huppert SS, Iwakura Y, Dong C, Shanmukhappa SK, Divanovic S.	4. 巻 7
2. 論文標題 Regulation of Inflammation by IL-17A and IL-17F Modulates Non-Alcoholic Fatty Liver Disease Pathogenesis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Plos One	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0149783	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawabe T, Suzuki N, Yamaki S, Sun SL, Asao A, Okuyama Y, So T, Iwakura Y, Ishii N.	4. 巻 46
2. 論文標題 Mesenteric lymph nodes contribute to proinflammatory Th17-cell generation during inflammation of the small intestine in mice.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Eur J Immunol.	6. 最初と最後の頁 1119-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eji.201545907	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mai J, Nanayakkara G, Lopez-Pastrana J, Li X, Li YF, Wang X, Song A, Virtue A, Shao Y, Shan H, Liu F, Autieri MV, Kunapuli SP, Iwakura Y, Jiang X, Wang H, Yang XF.	4. 巻 291
2. 論文標題 Interleukin-17A Promotes Aortic Endothelial Cell Activation via Transcriptionally and Post-translationally Activating p38 Mitogen-activated Protein Kinase (MAPK) Pathway.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 4939-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M115.690081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ebihara T, Azuma M, Oshiumi H, Kasamatsu J, Iwabuchi K, Matsumoto K, Saito H, Taniguchi T, Matsumoto M, Seya T.	4. 巻 212
2. 論文標題 Identification of a polyI:C-inducible membrane protein that participates in dendritic cell-mediated natural killer cell activation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 1337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20091573	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki T., Higuchi M., Takeda K., Iwatsuki-Horimoto K., Kiso M., Miyagishi M., Yanai H., Kato A., Yoneyama M., Fujita T., Taniguchi T., Kawaoka Y., Ichijo H., Gotoh Y.	4. 巻 8(388)
2. 論文標題 The ASK family kinases differentially mediate induction of type I interferon and apoptosis during the antiviral response.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Science Signaling.	6. 最初と最後の頁 ra78(1 - 12)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scisignal.aab1883	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishio J., Baba M., Atarashi K., Tanoue T., Negishi H., Yanai H., Habu S., Hori S., Honda K., Taniguchi T.	4. 巻 41
2. 論文標題 Requirement of full TCR repertoire for regulatory T cells to maintain intestinal homeostasis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U S A.	6. 最初と最後の頁 12770-12775
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1516617112	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saigusa R., Asano Y., Taniguchi T., Yamashita T., Ichimura Y., Takahashi T., Toyama T., Yoshizaki A., Sugawara K., Tsuruta D., Taniguchi T., Sato S.	4. 巻 112
2. 論文標題 Multifaceted contribution of the TLR4-activated IRF5 transcription factor in systemic sclerosis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. USA.	6. 最初と最後の頁 15136-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1520997112	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Teijaro J. R., Studer S., Leaf N., Kiosses, W.B., Nguyen N., Matsuki K., Negishi H., Taniguchi T., Oldstone M.B.A., and Rosen H.	4. 巻 113
2. 論文標題 S1PR1-mediated IFNAR1 degradation modulates plasmacytoid dendritic cell interferon-autoamplification.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. U S A.	6. 最初と最後の頁 1351-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1525356113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto K, Okada Y, Suzuki A and Kochi Y.	4. 巻 Jun;11(6)
2. 論文標題 Genetics of rheumatoid arthritis in Asia present and future	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat.Rev.Rheumatol	6. 最初と最後の頁 375-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nrrheum.2015.7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Sumitomo S, Morita K, Iwasaki Y, Inoue M, Nakachi S, Komai T, Shoda H, Miyazaki J, Fujio K, Yamamoto K.	4. 巻 Feb 19;6
2. 論文標題 TGF-β3-expressing CD4+CD25-LAG3+ regulatory T cells control humoral immune responses	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 6329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms7329.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jee, J., Bonnegarde-Bernard, A., Duverger, A., Iwakura, Y., Cormet-Boyaka, E., Martin, T. L., Steiner, H. E., Bachman, R. C., and Boyaka, P. N.	4. 巻 8
2. 論文標題 Neutrophils negatively regulate induction of mucosal IgA responses after sublingual immunization.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Mucosal Immunol.	6. 最初と最後の頁 735-745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2014.105.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimizu, K., Nakajima, A., Sudo, K., Liu, Y., Mizoroki, A., Ikarashi, T., Horai, R., Kakuta, S., Watanabe, T., and Iwakura, Y.	4. 巻 194
2. 論文標題 Interleukin-1 receptor type 2 suppresses collagen-induced arthritis by inhibiting interleukin-1 signal on macrophages.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J. Immunol.	6. 最初と最後の頁 3156-3168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1402155.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uryu, H., Hashimoto, D., Kato, K., Hayase, E., Matsuoka, S., Ogasawara, R., Takahashi, S., Maeda, Y., Iwasaki, H., Miyamoto, T., Saijo, S., Iwakura, Y., Hill, G. R., Akashi, K., and Teshima, T.	4. 巻 125
2. 論文標題 -Mannan induces Th17-mediated pulmonary graft-versus-host disease in mice.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 3014-3023
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2014-12-615781.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Giannou, A. D. et al	4. 巻 125
2. 論文標題 Mast cells mediate malignant pleural effusion formation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J. Clin. Invest.	6. 最初と最後の頁 2317-2334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI79840.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maruhashi, T. *, Kaifu, T. *, Yabe, R., Seno, A., Chung, S. H., Fujikado, N., and Iwakura, Y. (*equal contributor)	4. 巻 194
2. 論文標題 DCIR maintains bone homeostasis by regulating IFN- γ production in T cells.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J. Immunol.	6. 最初と最後の頁 5681-5691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1500273.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oberhuber, R., Heinboken, T., Cetina Biefer, H. R., Boenisch, O., Hock, K., Bronson, R. T., Wilhelm, M. J., Iwakura, Y., Edtinger, K., Uehara, H., Quante, M., Voskuil, F., Krenzien, F., Slegtenhorst, B., Abdi, R., Pratschke, J., Elkhali, A., and Tullius, S. G.	4. 巻 132
2. 論文標題 CD11c+ DCs accelerate the rejection of older cardiac transplants via IL-17A.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Circulation	6. 最初と最後の頁 122-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.114.014917.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Wakabayashi, C., Numakawa, T., Odaka, H., Ooshima, Y., Kiyama, Y., Manabe, T., Kunugi, H., and Iwakura, Y.	4. 巻 599
2. 論文標題 IL-1 receptor-antagonist (IL-1Ra) knockout mice show anxiety-like behavior by aging.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neurosci. Lett.	6. 最初と最後の頁 20-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2015.05.019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akitsu, A., Ishigame, H., Kakuta, S., Chung, S. H., Ikeda, S., Shimizu, K., Kubo, S., Liu, Y., Umemura, M., Matsuzaki, G., Yoshikai, Y., Saijo, S., and Iwakura, Y.	4. 巻 6
2. 論文標題 IL-1 receptor antagonist-deficient mice develop autoimmune arthritis due to intrinsic activation of IL-17-producing CCR2+V β 6+ T cells.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 7464
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms8464	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura, T., Maeda, S., Horiguchi, K., Maehara, T., Aritake, K., Choi, B. I., Iwakura, Y., Urade, Y., and Murata, T.	4. 巻 6
2. 論文標題 PGD2 deficiency exacerbates food antigen-induced mast cell hyperplasia.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 7514
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms8514	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Drgonova, J., Walther, D., Wang, K. J., Hartstein, G. L., Lochte, B., Troncoso, J., Uetani, N., Iwakura, Y., and Uhl, G. R.	4. 巻 21
2. 論文標題 Mouse model for PTPRD associations with WED/RLS and addiction: reduced expansion alters locomotion, sleep behaviors and cocaine-conditioned place preference.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Mol. Med.	6. 最初と最後の頁 717-725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2119/molmed.2015.00017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tang, C., Kamiya, T., Liu, Y., Kadoki, M., Kakuta, S., Oshima, K., Hattori, M., Takeshita, K., Kanai, T., Saijo, S., and Iwakura, Y.	4. 巻 18
2. 論文標題 Inhibition of Dectin-1 signaling ameliorates colitis by inducing Lactobacillus-mediated regulatory T cell expansion in the intestine.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cell Host & Microbe	6. 最初と最後の頁 183-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2015.07.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hamour, S., Gan, P. Y., Pepper, R., Florez Barros, F., Wang, H. H., O'Sullivan, K., Iwakura, Y., Cook, T., Pusey, C., Holdsworth, S., and Salama, A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Local IL-17 production exerts a protective role in murine experimental glomerulonephritis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0136238(1-16)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0136238.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Cai, S., Batra, S., Langohr, I., Iwakura, Y., and Jeyaseelan, S.	4. 巻 9
2. 論文標題 IFN- γ induction by neutrophil-derived IL-17A homodimer augments pulmonary antibacterial defense.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Mucosal Immunol.	6. 最初と最後の頁 718-729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2015.95.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhou, X., Loomis-King, H., Gurczynski, S. J., Wilke, C. A., Konopka, K. E., Ptaschinski, C., Coomes, S. M., Iwakura, Y., van Dyk, L. F., Lukacs, N. W., and Moore, B. B.	4. 巻 9
2. 論文標題 Bone marrow transplantation alters lung antigen-presenting cells to promote Th17 reponse and the development of pneumonitis and fibrosis following gammaherpesvirus infection.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Mucosal Immunol.	6. 最初と最後の頁 610-620
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2015.85.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Murayama, M. A., Kakuta, S., Inoue, A., Umeda, N., Yonezawa, T., Maruhashi, T., Tateishi, K., Ishigame, I., Yabe, R., Ikeda, S., Seno, A., Chi, H. H., Hashiguchi, Y., Kurata, R., Tada, T., Kubo, S., Sato, N., Liu, Y., Hattori, M., Saijo, S., Matsushita, M., Fujita, T., Sumida, T., and Yoichiro Iwakura.	4. 巻 6
2. 論文標題 CTRP6 is an endogenous complement regulator that can effectively treat induced arthritis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 8483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms9483	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tokieda, S., Komori, M., Ishiguro, T., Iwakura, Y., Takahara, K., and Inaba, K.	4. 巻 16
2. 論文標題 Dendritic cell immunoreceptor 1 alters neutrophil response in the development of experimental colitis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 BMC Immunol.	6. 最初と最後の頁 64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12865-015-0129-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhuang, Z. N., Ju, H. Q., Aguilar, M., Gocho, T., Li, H., Iida, T., Lee, H., Fan, X., Zhou, H., Ling, J., Li, Z., Fu, J., Wu, M., Li, M., Melisi, D., Iwakura, Y., Xu, K., Fleming, J. B., and Chiao, P. J.	4. 巻 22
2. 論文標題 IL-1 receptor antagonist inhibits pancreatic cancer growth by abrogating NF- B activation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clin. Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 1432-1444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-14-3382.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higashino-Kameda, M., Yabe-Wada, T., Matsuba, S., Takeda, K., Anzawa, K., Mochizuki, T., Makimura, K., Saijo, S., Iwakura, Y., Toga, H., and Nakamura, A.	4. 巻 65
2. 論文標題 A critical role of Dectin-1 in hypersensitivity pneumonitis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Inflamm. Res.	6. 最初と最後の頁 235-244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00011-015-0910-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Di Paolo, N. C., Shafiani, S., Day, T., Papayannopoulou, T., Russell, D. W., Iwakura, Y., Sherman, D., Urdahl, K., and Shayakhmetov, D. M.	4. 巻 43
2. 論文標題 Interdependence between interleukin-1 and tumor necrosis factor regulates TNF-dependent control of Mycobacterium tuberculosis infection.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 1125-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2015.11.016.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akahori, Y., Miyasaka, T., Toyama, M., Matsumoto, I., Miyahara, A., Zong, T., Ishii, K., Kinjo, Y., Miyazaki, Y., Saijo, S., Iwakura, Y., and Kawakami, K.	4. 巻 17
2. 論文標題 Dectin-2-dependent host defense in mice infected with serotype 3 Streptococcus pneumoniae.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Immunol.	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12865-015-0139-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mai, J., Nanayakkara, G., Lopez-Pastrana, J., Li, X., Li, Y. F., Wang, X., Song, A., Virtue, A., Shao, Y., Shan, H., Liu, F., Autieri, M. V., Kunapuli, S. P., Iwakura, Y., Jiang, X., Wang, H., Yang, X. F.	4. 巻 291
2. 論文標題 Interleukin-17A promotes aortic endothelial cell activation via transcriptionally and post-transcriptionally activating p38 MAPK pathway.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 4939-4954
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M115.690081.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawabe, T., Suzuki, N., Yamaki, S., Sun, S. L., Asao, A., Okuyama, Y., So, T., Iwakura, Y., and Ishii, N.	4. 巻 46
2. 論文標題 Mesenteric lymph nodes contribute to proinflammatory Th17-cell generation during inflammation of the small intestine in mice.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Eur. J. Immunol.	6. 最初と最後の頁 1119-1131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eji.201545907.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Giles, D. A., Moreno-Fernandez, M. E., Stankiewicz, T. E., Cappelletti, M., Huppert, S. S., Iwakura, Y., Dong, C., Shanmukhappa, S. K., and Divanovic, S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Regulation of inflammation by IL-1A and IL-17F modulates non-alcoholic fatty liver disease pathogenesis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0149783(1-18)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0149783.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lee, E. J., Brown, B. R., Vance, E. E., Snow, P. E., Silver, P. B., Heinrichs, D., Lin, X., Iwakura, Y., Wells, C. A., Caspi, R. R., and Rosenzweig, H. L.	4. 巻 196
2. 論文標題 Mincle activation and the Syk/Card9 signaling axis are central to the development of autoimmune disease of the eye.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Immunol.	6. 最初と最後の頁 3148-3158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1502355.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono, T., Okamoto, K., Nakashima, T., Nitta, T., Hori, S., Iwakura, Y., and Takayanagi H.	4. 巻 7
2. 論文標題 IL-17-producing T cells enhance bone regeneration.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 10928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms10928	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ciraci, C., Janczy, J. R., Jain, N., Haasken, S., Pecli, E. Silva, C., Benjamim, C. F., Sadler, J. J., Olivier. A. K., Iwakura, Y., Shayakhmetov, D. M., Sutterwala, F. S., and Cassel, S. L.	4. 巻 11
2. 論文標題 Immune complexes indirectly suppress the generation of Th17 responses in vivo.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0151252(1-15)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0151252.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Javed, N., Xue, G., Lu, A., Xing, Y., Iwakura, Y., Xiao, H., Lecoœur, H., Spath, G. F., and Meng, G.	4. 巻 81
2. 論文標題 Cross reactivity of S. aureus to murine cytokine assays: A source of discrepancy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cytokine	6. 最初と最後の頁 101-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cyto.2016.03.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Martin, B. N. , et al.	4. 巻 17
2. 論文標題 T cell-intrinsic ASC critically protees Th17-mediated experimental autoimmune encephalomyelitis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat. Immunol.	6. 最初と最後の頁 583-592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ni.3389.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shishikura, M., Nakamura, F., Yamashita, N., Uetani, N., Iwakura, Y., and Goshima, Y.	4. 巻 1642
2. 論文標題 Expression of receptor protein tyrosine phosphatase , PTP , in mouse central nervous system.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain Res.	6. 最初と最後の頁 244-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainres.2016.03.030. .	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計83件 (うち招待講演 64件 / うち国際学会 46件)

1. 発表者名 谷口維紹
2. 発表標題 死細胞由来分子による炎症応答とがんの進展及びその制御法の開発
3. 学会等名 第32回阪大医療組織工学フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷口維紹
2. 発表標題 Therapeutic implications for the role of HMGB1 and other DAMPs in cancer and other diseases
3. 学会等名 札幌国際がんシンポジウム (第37回) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷口維紹
2. 発表標題 HMGB1 and other DAMPs in the regulation of inflammation and tumor immune microenvironment
3. 学会等名 CSHA, Frontiers of Immunology in Health & Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷口維紹
2. 発表標題 HMGB1 and other DAMPS in the regulation of inflammatory diseases and tumor immune microenvironment: Therapeutic implications
3. 学会等名 Open Symposium, Croucher Summer Course 2018, Univ of Hong Kong (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷口維紹
2. 発表標題 HMGB1による炎症とがんの微小環境の制御及び治療法の開発
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会, The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症性疾患発症におけるIL - 17の役割
3. 学会等名 第221回日本皮膚科学会熊本地方会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症性疾患および免疫系の恒常性維持におけるIL - 17の役割
3. 学会等名 ノバルティスTAPの会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 腸管免疫の恒常性維持におけるC型レクチンおよびIL - 17Fの役割
3. 学会等名 日本生物学研究所セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症性疾患および免疫系の恒常性維持におけるIL - 17の役割
3. 学会等名 乾癬エキスパートミーティング in 関東甲信越（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 Immune and Bone Metabolic Abnormalities in Dcir-deficient Mice.
3. 学会等名 日本骨代謝学会 学会合同シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症性疾患発症におけるIL - 17の役割
3. 学会等名 日本炎症再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 食品の腸内環境に及ぼす影響と疾病との関連
3. 学会等名 第26回日本臨床環境医学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症応答におけるIL - 17の役割
3. 学会等名 埼玉IL - 17Aフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Role of HMGB1 in inflammation and immunity; implication in transplantation
3. 学会等名 2017 Seoul Forum（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Virtue and vice of the immune system: Self-derived molecules and molecular mechanisms that underlie the regulation of inflammation and cancer.
3. 学会等名 Consortium of Biological Sciences 2017（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Regulation of inflammation and tumor growth by DAMPs.
3. 学会等名 2017 SAB Meeting of Tsinghua Institute for Immunology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 From Type I IFN to HMGB1 and other DAMP molecules: Regulators of immunity, inflammation and cancer.
3. 学会等名 International Cytokine Interferon Society Meeting (ICIS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 From Q to another phage: Regulation of intestinal inflammation by a new bacteriophage.
3. 学会等名 The End of the Beginning, Symposium of Molecular Biology Zurich (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 DAMPs, inflammation and cancer.
3. 学会等名 2017 Changchun Forum on Research of Immunology and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Innate immune receptors in the regulation of tumor immunity.
3. 学会等名 Immuno-Oncology Summit 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 HMGB1 and other DAMPs in the regulation of inflammation and cancer.
3. 学会等名 Cancer, Inflammation, and Immunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The role of Dectin-1-IL-17F axis in the homeostasis of the intestinal immune system.
3. 学会等名 International Cytokine Interferon Society Meeting (ICIS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The role of Dectin-1-IL-17F axis in the homeostasis of the intestinal immune system. Inner Cosmos of the Body-Immunity, Tumors and Inflammation-
3. 学会等名 International Symposium of the Center for Animal Disease Models 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 Dectins and IBD Fungi/Dectins and mucosal immunity
3. 学会等名 18th International Congress of Mucosal Immunity (ICMI2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 Novel animal models in arthritis Novel Animal Models in Rheumatoid Arthritis
3. 学会等名 Joint EULAR-APLAR session, EULAR (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 Roles of C-type lectins in the immune system
3. 学会等名 BI/Kyoto University Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Regulation of inflammatory responses by self and non-self molecule
3. 学会等名 International Symposium on Advanced Immunology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Regulation of intestinal inflammation by SP-D
3. 学会等名 The 3rd Symposium Max Planck-The University of Tokyo Center for Integrative Inflammology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 DAMPs, Inflammation and Associated Diseases; The End of the Beginning?
3. 学会等名 Sanofi China Academy of Medical Science (CAMS) Symposium on Innovative Medicine (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Yamamoto
2. 発表標題 NOVEL THERAPEUTIC TARGETS IN AUTOIMMUNITY - TGF-beta3 AS A NOVEL TARGET OF IMMUNOTHERAPY
3. 学会等名 10th International Congress on Autoimmunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuhiko Yamamoto
2. 発表標題 Diagnosis and treatment of rheumatoid arthritis
3. 学会等名 21st Hong Kong Medical Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Kazuhiko Yamamoto
2 . 発表標題 Genomics and functional genomics of rheumatoid arthritis
3 . 学会等名 the 18th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress (APLAR) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Aoi Akitsu, Yoichiro Iwakura.
2 . 発表標題 Identification of novel IL-17-producing T cell populations, TCR-CD4-CD8- cells, in TCRd -deficient mice.
3 . 学会等名 4th Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society (ICIS). (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Ce Tang, Tomonori Kamina, Yoichiro Iwakura.
2 . 発表標題 Inhibition of Dectin-1 signaling ameliorates colitis by inducing Lactobacillusmediated regulatory T cell expansion in the intestine.
3 . 学会等名 International Congress of Immunology (ICI) 2016 (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Aoi Akitsu, Yoichiro Iwakura.
2 . 発表標題 IL-1 receptor antagonist-deficient mice develop autoimmune arthritis due to intrinsic activation of IL-17-producing CCR2+V6+ T cells.
3 . 学会等名 International Congress of Immunology (ICI) 2016 (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Masanori A. Murayama, Kenzo Matsuo, Kaori Yoshida, Nanako Katagiri, Yoichiro Iwakura.
2. 発表標題 Complement regulator CTRP6 and inflammatory diseases.
3. 学会等名 9th International Conference on Complement Therapeutics. Rhodes, Greece. (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 唐策、濱田有史、岩倉洋一郎
2. 発表標題 A novel role of Dectin-1 signaling in controlling food antigen-induced mouse intestinal allergy
3. 学会等名 第45回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村山正承、岩倉洋一郎
2. 発表標題 補体制御因子CTRP6と炎症性疾患
3. 学会等名 第3回日本リウマチ学会ベーシックリサーチカンファレンス.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 矢部力朗、海部知則、丸橋拓海、西城忍、舘野浩章、平林淳、岩倉洋一郎
2. 発表標題 DCIR - 糖鎖間相互作用による骨代謝制御機構.
3. 学会等名 第35回日本糖質年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村山正承、松尾謙蔵、吉田佳織、片桐菜々子、岩倉洋一郎
2. 発表標題 補体制御因子CTRP6と炎症性疾患
3. 学会等名 第81回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 秋津葵、 岩倉洋一郎
2. 発表標題 IL-1Ra KOマウスにおける胸腺T細胞分化の解析
3. 学会等名 第26回Kyoto T cells conference.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 唐策、岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症性腸疾患と食物アレルギーの病態制御におけるDect in-1と短鎖 グルカンの役割の解析
3. 学会等名 Glyco-Immunology 2017糖鎖免疫研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The role of C-type lectin receptors in the homeostasis of the intestinal immune system.
3. 学会等名 Korean Society for Biochemistry and Molecular Biology (KSBMB) International Conference 2016（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The role of C-type lectin receptors in the homeostasis of the intestinal immune system.
3. 学会等名 National Defense Medical Center (Sponsored by Prof. Ann Chen) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 Roles of C-type lectins in host defense against pathogens and homeostasis of the immune system.
3. 学会等名 Genomics Research Center Seminar Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 シンポジウム17「リウマチ性疾患における自己免疫と自然免疫」
3. 学会等名 第60回日本リウマチ学会総会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 自己免疫疾患と感染防御におけるIL-17ファミリーの役割
3. 学会等名 御茶ノ水乾癬勉強会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症および感染防御におけるIL - 17AとIL - 17Fの役割
3. 学会等名 皮膚科学会モーニングセミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 自己免疫疾患と感染防御におけるIL - 17ファミリーの役割
3. 学会等名 四国4大学皮膚科研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 自己免疫疾患と感染防御におけるIL - 17ファミリーの役割
3. 学会等名 Psoriasis and IL-17A Forum 2016 in Kyushu（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 短鎖 グルカンによる腸内細菌を介した免疫制御
3. 学会等名 東海大学医学部講演会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 短鎖 グルカンによる腸管免疫恒常性の維持
3. 学会等名 日本臨床免疫学会シンポジウム1 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 自然免疫受容体を介した真菌の認識と免疫系の修飾
3. 学会等名 日本医真菌学会教育講演3 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 疾患モデルを用いた自己免疫および感染防御機構の解析と創薬への展開
3. 学会等名 自治医科大学大学院特別講義 (医学研究科教育委員会主催) (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 低分子 グルカンによる腸管炎症抑制
3. 学会等名 バイオジャパン (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 Pathogenic Mechanisms of Psoriasis: Lessons from Mouse Models
3. 学会等名 日本研究皮膚科学会第41回年次学術大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 炎症性疾患及び免疫系の恒常性維持におけるIL - 17の役割
3. 学会等名 第40回皮膚脈管・膠原病研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 低分子 グルカンによる腸管免疫の制御
3. 学会等名 第1回千葉プロバイオティックス学術セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Regulation of anti-tumor immune innate immune responses: implications to cancer therapeutics
3. 学会等名 9th Symposium Progress Towards Individualized Cancer Therapeutics（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Recognition of self-derived molecular inflammation and antitumor immunity
3. 学会等名 19th International Fritz-Bender Foundation Symposium on Cancer Biology for Cancer Therapeutics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Regulation of inflammation and anti-tumor innate immunity by self-derived molecules
3. 学会等名 Tumor Immunology and Immunotherapy, Cold Spring Harbor Asia Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tadatsugu Taniguchi
2. 発表標題 Innate immune responses in the regulation of tumor development
3. 学会等名 Third Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society (ICIS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kazuhiko Yamamoto
2. 発表標題 Regulatory T cells in human diseases
3. 学会等名 11th International Congress on Systemic Lupus Erythematosus (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kazuhiko Yamamoto
2. 発表標題 A novel regulatory T cell subset controlling B cell functions: a combination of therapeutic cytokines
3. 学会等名 7th International Forum on Rheumatoid Arthritis (IFRA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 秋津葵、角田茂、西城忍、岩倉洋一郎
2. 発表標題 IL-17産生性 T細胞によるIL-1Ra KOマウスの関節炎発症メカニズム.
3. 学会等名 第80回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 村山正承、岩倉洋一郎
2. 発表標題 新たな補体制御因子CTRP6による補体制御機構および関節リウマチに対する治療効果の検討.
3. 学会等名 第80回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉田佳織、清水謙次、村山正承、岩倉洋一郎
2. 発表標題 大腸炎発症におけるIL-1受容体II型の機能解析
3. 学会等名 第80回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 村山正承、吉田佳織、松尾謙蔵、岩倉洋一郎
2. 発表標題 自己免疫発症における補体第二経路特異的制御因子CTRP6の役割
3. 学会等名 第52回日本補体学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 海部知則、丸橋拓海、矢部力朗、鄭琇絢、妹尾彬正、藤門範行、岩倉洋一郎
2. 発表標題 C型レクチン受容体DCIR欠損マウスで認められた関節強直と骨量増加の病態解析
3. 学会等名 日本リウマチ学会第2回JCRベーシックリサーチカンファレンス
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tomonori Kaifu, Takumi Maruhashi, Rikio Yabe, Soo-hyun Chung, N, Yoichiro Iwakura.
2. 発表標題 DCIR maintains bone homeostasis by regulating IFN-g; production in T cells.
3. 学会等名 第44回日本免疫学会総会・学術集会(国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ce Tang, Tomonori Kamina, Yoichiro Iwakura.
2. 発表標題 Inhibition of Dectin-1 signaling ameliorates colitis by inducing Lactobacillus-mediated regulatory T cell expansion in the intestine.
3. 学会等名 Third Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society (ICIS)(国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tomonori Kaifu, Takumi Maruhashi, Rikio Yabe, Soo-hyun Chung, Akimasa Seno, Noriyuki Fujikado, Yoichiro Iwakura.
2. 発表標題 DCIR maintains bone homeostasis by regulating IFN- production in T cells.
3. 学会等名 Third Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society (ICIS) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Masanori Murayama, Yoichiro Iwakura.
2. 発表標題 CTRP6, complement regulator, effectively treats induced arthritis.
3. 学会等名 Third Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society (ICIS) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 マウスモデルを用いた関節リウマチ発症機構の解析と治療への応用
3. 学会等名 第26回日本生体防御学会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The role of Dectin-1 in the homeostasis of the intestinal immune system
3. 学会等名 International Symposium of the Center for Animal Disease Models 2015 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 Basic Research for Infection, Inflammation, and Immunity Using Gene-Modified Mice
3. 学会等名 Dalian Medical University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 CTRP6: A Novel Complement Regulator. International Symposium on Immune Regulation
3. 学会等名 University of Tsukuba (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The roles of C-type lectin receptors in the homeostasis of the intestinal immune system
3. 学会等名 National Defense Medical Center (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 自己免疫疾患および感染防御におけるIL-17A、IL-17Fの役割の解明
3. 学会等名 野口英世記念医学賞受賞記念講演 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 関節リウマチのモデル動物」第9回 in vivo実験医学シンポジウム「免疫疾患における動物モデルを用いた病態解明と治療への応用
3. 学会等名 公益財団法人実験動物中央研究所（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The roles of C-type lectin receptors in the homeostasis of the intestinal immune system
3. 学会等名 Shenzhen Institute of Advanced Technology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoichiro Iwakura
2. 発表標題 The roles of C-type lectin receptors in the homeostasis of the intestinal immune system
3. 学会等名 Advanced Institute for Medical Sciences, Dalian Medical University（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岩倉洋一郎
2. 発表標題 腸管免疫の恒常性維持に於けるC型レクチンの役割
3. 学会等名 千葉大学真菌医学 研究センターセミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 村山正承、岩倉洋一郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 理大科学フォーラム	5. 総ページ数 4
3. 書名 トピックス 「自己免疫疾患に対する新たな治療標的の発見」	

1. 著者名 唐策、角田茂、岩倉洋一郎	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本農芸化学会	5. 総ページ数 6
3. 書名 セミナー室「低分子 グルカン摂取により炎症性腸疾患を予防, 改善する」	

1. 著者名 Tomonori Kaifu and Yoichiro Iwakura.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer Japan	5. 総ページ数 12
3. 書名 Dendritic Cell Immunoreceptor (DCIR): An ITIM-Harboring C-Type Lectin Receptor.	

1. 著者名 秋津葵、岩倉洋一郎	4. 発行年 2016年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 7
3. 書名 IL-1ファミリー分子による免疫制御	

1. 著者名 秋津葵、岩倉洋一郎	4. 発行年 2016年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 5
3. 書名 自己免疫性関節炎と病原性T細胞	

〔出願〕 計1件

産業財産権の名称 免疫機能を調節する核酸分子およびその用途	発明者 谷口維紹	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2019-105748	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

http://mol-immu.umin.jp/ https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/research/department_center/immunology/ UTokyo Research: がんの肝転移を抑える新たなしくみを発見 http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/utokyo-research/research-news/newly-discovered-mechanism-prevents-spread-of-cancer-to-liver.html UTokyo Research: 死んだ細胞から放出される免疫抑制分子を同定 http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/utokyo-research/research-news/dead-cell-derived-immunosuppressive-molecule-identified.html
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岩倉 洋一郎 (Iwakura Yoichiro) (10089120)	東京理科大学・研究推進機構生命医科学研究所・教授 (32660)	
研究分担者	西尾 純子 (Nishio Junko) (40598679)	東京大学・先端科学技術研究センター・特任助教 (12601)	削除：2019年10月

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤尾 圭志 (Fujio Keishi) (70401114)	東京大学・医学部附属病院・教授 (12601)	
研究分担者	柳井 秀元 (Yanai Hideyuki) (70431765)	東京大学・先端科学技術研究センター・特任准教授 (12601)	
研究分担者	根岸 英雄 (Negishi Hideo) (60514297)	東京大学・生産技術研究所・特任助教 (12601)	
研究分担者	山本 一彦 (Yamamoto Kazuhiko) (80191394)	国立研究開発法人理化学研究所・生命医科学研究センター・副センター長 (12601)	
研究分担者	生島 弘彬 (Ikushima Hiroaki) (80719154)	東京大学・生産技術研究所・特任助教 (12601)	削除：2016年4月